

## プールについて

着目ポイント	現状
体育授業の観点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳は選択科目であり、必須科目ではない（中学校学習指導要領より）</li> <li>・水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができる（中学校学習指導要領より）</li> <li>・授業は各学年、年間10時限程度</li> </ul>
部活動の観点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の水泳部員は0名</li> <li>・部員の募集を停止している</li> </ul>
維持管理の観点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和40年代に建築されていて、施設が老朽化している</li> <li>・夏場（7、8月）の水道代が年間使用料の約4割を占める</li> <li>・平成26年度に改修を行った</li> </ul>
近隣市町の建設状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度改築の多度津中学校はプールを廃止</li> <li>・平成27年度の県内中学校75校中、プールがある学校は51校（68%）</li> </ul>

## 【本事業における考え方】

- ① プールは老朽化していて、今後の維持管理費や修繕にかかる費用は大きいものと予想される
- ② ヴィスポことひらには、温水プールがあり、年間を通じて利用できる
- ③ 新校舎、新体育館の配置計画において、用地が有効利用できる

【結果】 プールを撤去し、学校用地として利用する。水泳授業を行う場合は、ヴィスポことひらを利用する。